

安全データシート (SDS)

作成 平成 7年 6月 30日
最終改訂 平成 28年 4月 4日

1.【化学物質等及び会社情報】

製品

製品の名称 油かた丸
供給者情報
会社名 アルタン株式会社
住所 東京都大田区東糀谷3-11-10
マーケティング室 開発企画課
電話番号 03-3743-5705
FAX番号 03-3743-5706
緊急連絡先 同上

2.【危険有害性の要約】

GHS分類

GHSの危険有害性区分に該当しない

絵表示又はシンボル
なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報
情報なし

3.【組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別 単一製品

成分及び含有量

| 化学名 | 含有量(wt%) | CAS No. | 労働安全衛生法 通知非対象物質 | PRTR法 |
|----------------|----------|----------|--------------------|-------|
| 12-ヒドロキシステアリン酸 | 100 | 106-14-9 | | 非該当 |

4.【応急処置】

目に入った場合 目を擦ったり固く閉じさせてはならない。
出来るだけ早く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して、十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーを使用しないこと。

吸入した場合 外観に変化が見られたり痛みがある場合には、医師の診断を受けること。
粉塵等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、
医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。大量の水を飲ませ、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
意識がない場合には、口から何も与えないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
嘔吐物は飲み込ませないこと。

5.【火災時の措置】

消火剤 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、水(噴霧)
使ってはならない消火剤

特有の危険有害性 水(容器に直接棒状放水すると内容物が拡散し、火災を拡大するおそれがある。)
特有の消火方法 高温(引火点300℃以上)では熱、火花、火災等の着火源があると引火する。
指定の消火器を使用する。
危険でなければ火災区域から容器を移動し、可燃性の物を周囲から取り除く。
火災周辺の設備、可燃物に散水し、火災延焼を防ぐ。
消火活動は風上より行う。

消火を行う者の保護 耐熱性着衣等の適切な保護具を着用する。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項

河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

飛散したものをほうき等で掃き集めて、密閉できる容器に回収する。

付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をすること。

付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を速く取り除く。

着火した場合にそなえて、適切な消火器を準備する。

火花が発生しない様な用具を用いて回収する。

7.【取り扱い及び保管上の注意】

取扱い 粉塵を吸い込んだり、眼、皮膚に直接触れないように適切な保護具を着用する。

周囲で火気、スパーク、高温物の使用を禁止すること。

作業中は、難燃性の素材を使用した帯電防止型の作業服、靴を使用すること。

保管

日光の直射を避ける。

通気の良い所に保管する。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

8.【暴露防止及び保護措置】

設備対策

屋内で取り扱う場合は、吸排気が充分とれる設計とする。

製品の輸送、取り出し、混合等の装置についてはアースを取るよう設備すること。

取扱い場所の近くには、高温発火源となるものが置かれられないような設備とすること。

粉塵が積もらないような設計とすること。

設定なし

許容濃度、管理濃度

保護具

呼吸系の保護

防塵マスクを着用する。

目の保護

保護眼鏡を着用する。

皮膚の保護

保護手袋を着用する。

その他の保護具

静電気が帯電しにくい素材の作業着、作業靴を着用する。

9.【物理的及び化学的性質】

| | |
|----------------|-------------------|
| 状態 | フレーク状固体 |
| 色調 | 白色～微ピンク色 |
| 臭気 | 特有の芳香 |
| 臭いの閾値 | データなし |
| pH | データなし |
| 沸点 | データなし |
| 融点 | 70°C～80°C |
| 引火点 | 300°C(クリーブランド開放式) |
| 蒸発速度 | データなし |
| 燃焼又は爆発限界 | 上限:データなし 下限:データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度 | データなし |
| 比重 | データなし |
| 溶解度 | 水に不溶 |
| n-オクタノール/水分配係数 | データなし |
| 自然発火温度 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| 粘土 | データなし |
| その他 | データなし |

10.【安定性及び反応性】

反応性、化学的安定性 通常の条件では安定。

危険有害性反応可能性 情報なし

避けるべき条件 情報なし

混触危険物質 情報なし

危険有害な分解生成物 加熱分解によりCO、CO₂等を生じる。

11.【有害性情報】

| | | | |
|-------------------|--------|------------------|--------|
| 急性毒性 | 経口 マウス | LD ₅₀ | 20g/kg |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | | | 情報なし |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | | | 情報なし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | | | 情報なし |
| 生殖細胞変異原性 | | | 情報なし |
| 発がん性 | | | 情報なし |
| 生殖毒性 | | | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性(単回暴露) | | | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性(反復暴露) | | | 情報なし |
| 吸引性呼吸器有害性 | | | 情報なし |

12.【環境影響情報】

| | |
|-----------|-------------|
| 生態毒性 | 製品としてのデータなし |
| 残留性/分解性 | 良分解性 |
| 生態蓄積性 | 製品としてのデータなし |
| 土壌中の移動性 | 製品としてのデータなし |
| オゾン層への有害性 | 製品としてのデータなし |

13.【廃棄上の注意】

廃物、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

14.【輸送上の注意】

一般的注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
 運搬に際しては容器を40℃以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制

陸上輸送 消防法の定めるところに従う。
 海上輸送 船舶安全法の定めるところに従う。
 航空輸送 航空法の定めるところに従う。

国際規制

国連分類 国連の分類基準に該当しない
 国連番号 非該当
 容器等級 非該当

15.【適用法令】

| | |
|-------------|-----------------------------|
| 消防法 | 非危険物 指定可燃物（可燃性固体類） |
| 労働安全衛生法 | 非該当 |
| PRTR法 | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| 外国為替及び外国貿易法 | 輸出貿易管理令別表第1の16の項(キャッチオール規制) |

16.【その他の情報】

記載内容の問い合わせ先
 アルタン株式会社
 住所 東京都大田区東糀谷3-11-10
 担当部門 マーケティング室
 電話番号 03-3743-5705
 FAX番号 03-3743-5706

改訂履歴

作成 平成 7年 6月 30日
 改訂 平成 18年 3月 23日
 最終改訂 平成 28年 4月 4日

参考文献

製品評価技術基盤機構(NITE)GHS分類結果データベース
GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック[混合物用(塗料用)](日本塗料工業会)
GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針(日本化学工業会)
製品安全データシート(MSDS)作成実務必携 増補改訂版(化学工業日報社)
実務者のための化学物質等法規制便覧(化学工業日報社)

注意

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。